

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

自由選抜入試は、志望する学部に関連した高い能力をもつ者、あるいは学業以外の諸活動の分野に秀でた個性をもつ者で、
本学ならびに各学部の教育目的を理解し、そこで学びたいという熱意のある学生を受け入れることを目的としています。
立教大学で自分のもつ能力や個性をさらに豊かに開花させたいと考える人たちの、積極的な出願を歓迎します。

出願資格種別	文学部*2,*3	異文化 コミュニ ケーション 学部	経済学部*3	経営学部*2	理学部	社会学部*3	法学部	観光学部	コミュニティ 福祉学部	現代心理 学部*2
スポーツ活動における優秀な実績*1				○	○		○		○	
文化・芸術活動(音楽、放送、演劇、美術、 文学、書道、弁論など)における優秀な実績	○			○	○		○		○	○
外国語運用能力・外国語資格	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際バカロレア資格				○						
海外における異文化体験を持つ者	○			*4	○		○	○	○	○
課外活動の分野における指導的役割・ めざましい実績	○			○						○
ボランティア活動、校外活動での指導的役割・ めざましい実績	○			○					○	○
専攻分野の学業に役立つと思われる 優れた実績	○			○	○			○		○
専攻分野に関連する将来構想や 具体的なプランを有する者								○		
専攻分野に関連する学科、関連科目を 一定以上修得している者	○				○					
学部入学時から大学院進学を目指す者		○*3								
その他の実績等	上記の区分にとられない出願資格もありますので、詳細は各学部の出願資格で確認してください。									

▶英語資格・検定試験のスコアの提出が必須となります(文学部文学科(ドイツ文学専修・フランス文学専修)を除く)。スコア基準の詳細は各学部の出願資格を確認してください。

▶「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願資格の有無について、出願期間前に審査が必要です。詳細は入試要項を確認してください。

▶「自由選抜入試」内での複数学部・学科・専修の併願はできません。

*1. 競技実績によっては、「アスリート選抜入試」も出願可能な場合があります。詳細はP.38・39をご覧ください。

*2. 学科・専修によって出願資格が異なります。詳細は各学部の出願資格をご覧ください。

*3. 既卒者も出願できます。

*4. 帰国生入試を実施しています。詳細はP.39をご覧ください。

文学部

キリスト教学科

募集人員	出願資格
キリスト教 学科 若干名	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 高等学校を卒業している者は高等学校の全体の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。</p> <p>3. 本学文学部キリスト教学科での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>4. 次の方式Ⅰ・方式Ⅱのいずれかに該当する者。 方式Ⅰ 次のA・Bの条件をすべて満たす者。 A. 次の(a)・(b)いずれかに該当する者。 (a) 次の①～⑨のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 ① ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications) ② 実用英語技能検定(英検)(従来型、英検CBTいずれも可) ③ GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る) ④ GTEC CBT ⑤ IELTS(Academic Module) ⑥ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) ⑦ TEAP CBT ⑧ TOEFL iBT ⑨ TOEIC L&RおよびTOEIC S&W(いずれもIPテスト不可) ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 (b) 次の①～⑦のいずれかを受験し、スコア・級を提出できる者。 ① ドイツ語技能検定試験、またはGoethe-Zertifikat ② 実用フランス語技能検定試験、DELTA / DALF、TCFのいずれか ③ スペイン語技能検定試験、またはDELE ④ 中国語検定試験、または漢語水平考試(HSK) ⑤ ハングル能力検定試験、または韓国語能力試験 ⑥ ロシア語能力検定試験 ⑦ 実用イタリア語検定試験</p> <p>B. 次の資格Ⅰ～Ⅴのいずれかに該当する者。 [資格Ⅰ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程(海外を含む)在学中に、継続的・主体的なボランティア活動、校内・校外活動、課外活動、あるいは海外活動をし、かつ、その活動においてめざましい実績を挙げた者、または指導的な役割を果たした者。 [資格Ⅱ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(文学、美術、音楽、演劇など)における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者、もしくは、文化・芸術活動において高いレベルの実績を挙げた者。 [資格Ⅲ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、継続的・主体的なキリスト教関連諸活動をし、かつ、その活動においてめざましい実績を挙げた者、または指導的な役割を果たした者。 [資格Ⅳ] 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了し(2020年3月までに修了する見込みの者を含む)、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。 ※ ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。 [資格Ⅴ] 特別支援学校高等部(在籍3年以上)を卒業する者で、校内・校外活動において継続的・主体的な文化・芸術活動、ボランティア活動、生徒会等で特筆すべき活動を行った者。</p> <p>方式Ⅱ 次の(a)～(i)のいずれかに該当する英語の能力に優れた者。 (a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)スコア150点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,125点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア1,075点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア1,020点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア4.5以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア267点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア510点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア57点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,355点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p>
	▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法/出願書類についてはP.22をご覧ください。

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。

なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。

2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

文文学科英米文学専修

募集人員	出願資格
文文学科 英米文学 専修 若干名	次の1～4の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 2. 高等学校を卒業している者は高等学校の全体の評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。 3. 本学文学部文文学科英米文学専修での勉学に強い意欲を持つ者。 4. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 (a) 次の①～⑨のいずれかに該当する者。 ① ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)スコア160点以上の成績を取得している者。 ② 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,300点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 ③ GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア1,190点以上の成績を取得している者。 ④ GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。 ⑤ IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上の成績を取得している者。 ⑥ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上の成績を取得している者。 ⑦ TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。 ⑧ TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。 ⑨ TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 (b) 次の①・②のいずれかに該当する者。 ① ドイツ語技能検定試験4級以上、またはGoethe-Zertifikat A2以上の成績を取得している者。 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DELTA / DALF A2以上、TCF 250点以上(ただし補足試験のスコアは含めない)のいずれかの成績を取得している者。

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法/出願書類についてはP.22をご覧ください。

文文学科ドイツ文学専修

募集人員	出願資格
文文学科 ドイツ文学 専修 若干名	次の1・2の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 2. 本学文学部文文学科ドイツ文学専修での勉学に強い意欲を持つ者。

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法/出願書類についてはP.22をご覧ください。

文文学科フランス文学専修

募集人員	出願資格
文文学科 フランス文学 専修 若干名	次の1・2の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 2. 本学文学部文文学科フランス文学専修での勉学に強い意欲を持つ者。

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法/出願書類についてはP.22をご覧ください。

文文学科日本文学専修

募集人員	出願資格
文文学科 日本文学 専修 若干名	次の1～5の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 2. 高等学校を卒業している者は高等学校の全体の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。 3. 本学文学部文文学科日本文学専修での勉学に強い意欲を持つ者。 4. 高等学校を卒業している者は、高等学校の国語の評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの国語の評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、当該条件は設けない。 5. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 (a) 次の①～⑨のいずれかに該当する者。 ① ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)スコア140点以上の成績を取得している者。 ② 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 ③ GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア960点以上の成績を取得している者。 ④ GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 ⑤ IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。 ⑥ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア225点以上の成績を取得している者。 ⑦ TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 ⑧ TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 ⑨ TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 (b) 次の①～⑥のいずれかに該当する者。 ① ドイツ語技能検定試験4級以上、またはGoethe-Zertifikat A2以上の成績を取得している者。 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DELTA / DALF A2以上、TCF 250点以上(ただし補足試験のスコアは含めない)のいずれかの成績を取得している者。 ③ スペイン語技能検定4級以上、またはDELE A2以上の成績を取得している者。 ④ 中国語検定試験4級以上、または漢語水平考試(HSK)4級、5級、6級のいずれかで180点以上の成績を取得している者。 ⑤ ハングル能力検定試験4級以上、または韓国語能力試験2級以上の成績を取得している者。 ⑥ ロシア語能力検定試験4級以上の成績を取得している者。

▶出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法/出願書類についてはP.22をご覧ください。

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

文学科文芸・思想専修

募集人員	出願資格
文学科 文芸・思想 専修 若干名	次の1～6の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 2. 高等学校を卒業している者は高等学校の全体の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。 3. 本学文学部文学科文芸・思想専修での勉学に強い意欲を持つ者。 4. 高等学校を卒業している者は、高等学校の国語の評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの国語の評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、当該条件は設けない。 5. 高等学校を卒業している者は、高等学校において地理歴史および公民から合計6単位以上を修得し、かつその評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までに地理歴史および公民から合計6単位以上を修得し、かつその評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、当該条件は設けない。 6. 次の(a)・(b)いずれかに該当する者。 (a) 次の①～⑩のいずれかに該当する者。 ① ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)スコア140点以上の成績を取得している者。 ② 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 ③ GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア960点以上の成績を取得している者。 ④ GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 ⑤ IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。 ⑥ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア225点以上の成績を取得している者。 ⑦ TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 ⑧ TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 ⑨ TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 (b) 次の①～⑥のいずれかに該当する者。 ① ドイツ語技能検定試験4級以上、または Goethe-Zertifikat A2以上の成績を取得している者。 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DEL F / DALF A2以上、TCF 250点以上(ただし補足試験のスコアは含めない)のいずれかの成績を取得している者。 ③ スペイン語技能検定4級以上、または DELE A2以上の成績を取得している者。 ④ 中国語検定試験4級以上、または漢語水平考試(HSK)4級、5級、6級のいずれかで180点以上の成績を取得している者。 ⑤ ハングル能力検定試験4級以上、または韓国語能力試験2級以上の成績を取得している者。 ⑥ ロシア語能力検定試験4級以上の成績を取得している者。

▶ 出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法/出願書類についてはP.22をご覧ください。

史学科

募集人員	出願資格
史学科 10名程度	次の1～5の条件をすべて満たす者。 1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 2. 高等学校を卒業している者は高等学校の全体の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。 3. 本学文学部史学科での勉学に強い意欲を持つ者。 4. 次の資格Ⅰ～Ⅵのいずれかに該当する者。 [資格Ⅰ] 次の(a)～(c)の条件のいずれかを満たす者。ただし、出願条件1(c)に該当する者については、この資格での出願はできない。 (a) 高等学校を卒業している者は、世界史Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第2学年末までに世界史Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。ただし、高等学校第2学年末までに世界史Bを4単位以上修得していない者で、高等学校第3学年末までに世界史Bを4単位以上修得見込みのものは、高等学校第3学年第1学期までに履修した世界史Bおよび世界史Aの評定平均値が4.5以上のもの。 ※「世界史B」、「世界史A」以外の科目(例:「世界史研究」「世界史特講」「世界史演習」など)は評定平均値の対象科目とはならない。 (b) 高等学校を卒業している者は、日本史Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第2学年末までに日本史Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。ただし、高等学校第2学年末までに日本史Bを4単位以上修得していない者で、高等学校第3学年末までに日本史Bを4単位以上修得見込みのものは、高等学校第3学年第1学期までに履修した日本史Bおよび日本史Aの評定平均値が4.5以上のもの。 ※「日本史B」、「日本史A」以外の科目(例:「日本史研究」「日本史特講」「日本史演習」など)は評定平均値の対象科目とはならない。 (c) 高等学校を卒業している者は、地理Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第2学年末までに地理Bを4単位以上修得し、かつその評定平均値が4.5以上の者。ただし、高等学校第2学年末までに地理Bを4単位以上修得していない者で、高等学校第3学年末までに地理Bを4単位以上修得見込みのものは、高等学校第3学年第1学期までに履修した地理Bおよび地理Aの評定平均値が4.5以上のもの。 ※「地理B」、「地理A」以外の科目(例:「地理研究」「地理特講」「地理演習」など)は評定平均値の対象科目とはならない。 [資格Ⅱ] 歴史能力検定日本史1級、または世界史1級の成績を取得している者。 [資格Ⅲ] 国際地理オリンピック国内予選「第一次選抜試験通過者」や学会における高校生向けセッション(例えば日本地理学会高校生ポスターセッション)での発表経験を有する者。 [資格Ⅳ] 全日本高校模擬国連大会参加チームのメンバーとして活動した者、またはしている者。 [資格Ⅴ] 各都道府県の高等学校読書感想文コンクールで入選以上の成績をおさめた者。 [資格Ⅵ] 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了し(2020年3月までに修了する見込みの者を含む)、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。 ※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含めない。 5. 次の(a)・(b)いずれかに該当する者。 (a) 次の①～⑩のいずれかに該当する者。 ① ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)スコア140点以上の成績を取得している者。 ② 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 ③ GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア960点以上の成績を取得している者。 ④ GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 ⑤ IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。 ⑥ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア225点以上の成績を取得している者。 ⑦ TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 ⑧ TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 ⑨ TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 (b) 次の①～⑥のいずれかに該当する者。 ① ドイツ語技能検定試験4級以上、または Goethe-Zertifikat A2以上の成績を取得している者。 ② 実用フランス語技能検定試験3級以上、DEL F / DALF A2以上、TCF 250点以上(ただし補足試験のスコアは含めない)のいずれかの成績を取得している者。 ③ スペイン語技能検定4級以上、または DELE A2以上の成績を取得している者。 ④ 中国語検定試験4級以上、または漢語水平考試(HSK)4級、5級、6級のいずれかで180点以上の成績を取得している者。 ⑤ ハングル能力検定試験4級以上、または韓国語能力試験2級以上の成績を取得している者。 ⑥ ロシア語能力検定試験4級以上の成績を取得している者。

▶ 出願条件1(c)の詳細内容並びに選考方法/出願書類についてはP.22をご覧ください。

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

教育学科

募集人員	出願資格
教育学科 若干名	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。 高等学校を卒業している者は高等学校の全体の評定平均値が4.0以上の者。 高等学校卒業見込みの者は、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が4.0以上の者。 なお、出願条件1(c)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。 本学文学部教育学科での勉学に強い意欲を持つ者。 初等教育にも英語が教科として導入されるなかで、学問としての教育理論を踏まえた英語教育を実践できる人材を育成するために、次における英語資格検定試験(a)～(i)のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 <ol style="list-style-type: none"> ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications) 実用英語技能検定(英検)(従来型、英検CBTいずれも可) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る) GTEC CBT IELTS(Academic Module) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) TEAP CBT TOEFL iBT TOEIC L&RおよびTOEIC S&W(いずれもIPテスト不可) ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 学校教育を含む教育をとりまく世界がグローバル化の中で、多文化に開かれた教育を実践、研究する人材を育成するために、次の(a)～(h)のいずれかに該当する成績を取得している者。 <ol style="list-style-type: none"> ドイツ語技能検定試験4級以上、またはGoethe-Zertifikat A2以上の成績を取得している者。 実用フランス語技能検定試験3級以上、DELTA/DALF A2以上、TCF 250点以上(ただし補足試験のスコアは含めない)のいずれかの成績を取得している者。 スペイン語技能検定4級以上、またはDELE A2以上の成績を取得している者。 中国語検定試験4級以上、または漢語水平考試(HSK)4級、5級、6級のいずれかで180点以上の成績を取得している者。 ハングル能力検定試験4級以上、または韓国語能力試験2級以上の成績を取得している者。 ロシア語能力検定試験4級以上の成績を取得している者。 実用タイ語検定3級以上の成績を取得している者。 実用ベトナム語技能検定(VILT)4級以上の成績を取得している者。

【文学部共通:出願条件1(c)の詳細内容について】

- 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。
- 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。
- 文部科学大臣の指定した者。
- 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2020年3月31日までに合格見込みの者。
- 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの。
- その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。

選考方法	
第1次選考 以下の学科・専修は、出願書類をもとに書類選考を行います。 キリスト教学科 文学科(英米文学専修、日本文学専修、文芸・思想専修) 史学科 教育学科 ※文学科(ドイツ文学専修、フランス文学専修)は、 第1次選考は行いません。	第2次選考 キリスト教学科:面接試験 文学科 ●英米文学専修:英作文、面接試験 ●ドイツ文学専修:外国語総合、面接試験 ●フランス文学専修:外国語総合、面接試験 ●日本文学専修:面接試験 ●文芸・思想専修:面接試験 史学科:面接試験 教育学科:小論文、面接試験 ●英作文:英語の問題文が与えられ、それについて書かれた英作文から、読解力・文章構成力・表現力などを総合的に評価します。 ●外国語総合:ドイツ語総合・フランス語総合のうちから1科目選択。 ドイツ語・フランス語の語学力(読解・文法・語彙)を測るとともに、ドイツ語・フランス語の読解力と日本語による論理的構成力・表現力を測る総合問題を課します。 ●小論文:教育や社会などをめぐるテーマが与えられ、読解力・論理的構成力・表現力などを総合的に評価します。

【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書*1／活動報告書*2／証明書類の原本*3

- *1. 高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。
- *2. キリスト教学科、文学科(日本文学専修、文芸・思想専修)、史学科のみ。
- *3. キリスト教学科、文学科(英米文学専修、日本文学専修、文芸・思想専修)、史学科、教育学科のみ。

≫ 異文化コミュニケーション学部

異文化コミュニケーション学科 **方式A**

募集人員	出願資格
異文化 コミュニ ケーション 学科 方式A 10名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者。 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。 本学異文化コミュニケーション学部での勉学に強い意欲を持つ者。 次の(a)～(e)のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 <ol style="list-style-type: none"> 実用英語技能検定(英検)(英語4技能に限る)(従来型、英検CBTいずれも可) IELTS(Academic Module) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) TEAP CBT TOEFL iBT ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 次の(a)～(f)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> 次の①～⑤いずれかの成績を取得している者。 <ol style="list-style-type: none"> 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,300点以上(従来型、英検CBTいずれも可) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上 TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上 TEAP CBTスコア600点以上 TOEFL iBTスコア72点以上 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 ドイツ語技能検定3級以上を取得している者、またはGoethe-Zertifikat B1以上に合格している者。 実用フランス語技能検定試験準2級以上、DELTA A2以上、TCF 350点以上(ただし補足試験のスコアは含めない)のいずれかを取得している者。 スペイン語技能検定3級以上を取得している者、またはDELE B1以上に合格している者。 中国語検定試験3級以上に合格している者、または漢語水平考試(HSK)4級210点以上、5級6級180点以上を取得している者。 ハングル能力検定試験3級以上、または韓国語能力試験3級以上を取得している者。
	【異文化コミュニケーション学部:方式A 出願条件1(b)の詳細内容について】 (1)外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (2)日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (3)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (4)文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (5)その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含めない。
選考方法	
第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ●小論文:社会・文化・言語・教育などをめぐる課題文が与えられ、読解力・論理的構成力・表現力などを総合的に評価します。 ●面接試験
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／証明書類の原本	

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。

なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。

2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。

注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

異文化コミュニケーション学科 **方式B**

募集人員	出願資格
異文化コミュニケーション学科 方式B 5名程度	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 (a) 2018年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者。 (b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学異文化コミュニケーション学部・研究科での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の資格Ⅰ～Ⅳのいずれかに該当する者。 【資格Ⅰ】通訳翻訳専門コース 次の①～⑤いずれかの成績を取得している者。 ① 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,400点以上(従来型、英検CBTいずれも可) ② IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア6.0以上 ③ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア332点以上 ④ TEAP CBTスコア671点以上 ⑤ TOEFL iBTスコア80点以上</p> <p>【資格Ⅱ】英語教育専門コース 次の①～⑤いずれかの成績を取得している者。 ① 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,300点以上(従来型、英検CBTいずれも可) ② IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上 ③ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上 ④ TEAP CBTスコア600点以上 ⑤ TOEFL iBTスコア72点以上</p> <p>【資格Ⅲ】日本語教育専門コース 次の①～⑤いずれかの成績を取得している者。 ① 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,160点以上(従来型、英検CBTいずれも可) ② IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.0以上 ③ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア277点以上 ④ TEAP CBTスコア529点以上 ⑤ TOEFL iBTスコア60点以上</p> <p>【資格Ⅳ】国際協力専門コース 次の①～⑤いずれかの成績を取得している者。 ① 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,160点以上(従来型、英検CBTいずれも可) ② IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.0以上 ③ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア277点以上 ④ TEAP CBTスコア529点以上 ⑤ TOEFL iBTスコア60点以上</p> <p>※ いずれの資格(コース)も「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p>
	<p>【異文化コミュニケーション学部・方式B 出願条件1 (b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2018年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2018年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2018年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (5) その他、本学において、2018年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>●面接試験</p>
<p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／学修・研究計画書／推薦状／証明書類の原本</p>	
<p>▶ 5年一貫プログラムを志望する者は方式Bで選抜します。制度概要については大学案内をご覧ください。 ▶ 方式Bでは、本入試が実施される前年度中(2020年度入試においては2018年4月から2019年3月まで)の卒業に限り、高等学校等卒業生(既卒者)も出願が可能です。</p>	

≫ 経済学部

募集人員	出願資格
<p>経済学科 経済政策学科 会計ファイナンス学科 経済学部全体で 20名程度</p>	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. 本学経済学部(経済学科、会計ファイナンス学科、経済政策学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。 (a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)140点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア960点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア225点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>【経済学部:出願条件1 (c)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣の指定した者。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2020年3月31日までに合格見込みの者。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの。 (7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>●総合科目:主に現代の政治や経済に関する知識や関心、基礎的な数学的分析能力を問います。 ●面接試験</p>
<p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書^{*1}／証明書類の原本 * 1. 高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。</p>	

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

≫ 経営学部

経営学科・国際経営学科 方式A

募集人員	出願資格
<p>経営学科 国際経営学科 経営学部全体で 方式A 資格Ⅰ 10名程度 資格Ⅱ 10名程度 資格Ⅲ 20名程度</p>	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む、以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学経営学部(経営学科、国際経営学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 経営学科においては、次の資格Ⅰ～Ⅲのいずれかに該当する者。 国際経営学科においては、次の資格Ⅲに該当する者。</p> <p>[資格Ⅰ] 次の(a)・(b)の条件をすべて満たす者。</p> <p>(a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野において、国際大会または全国大会で優秀な成績を収めた者。 団体競技の場合には、国際大会または全国大会で優秀な成績を収めたチームで、レギュラーまたはそれに相当する選手として活躍した者もしくは主将など指導的役割を果たした者。</p> <p>(b) 次の①～⑩のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。</p> <p>① ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications) ② 実用英語技能検定(英検)(従来型、英検CBTいずれも可) ③ GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る) ④ GTEC CBT ⑤ GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る) ⑥ IELTS(Academic Module) ⑦ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) ⑧ TEAP CBT ⑨ TOEFL iBT ⑩ TOEIC L&RおよびTOEIC S&W(いずれもIPテスト可) ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>[資格Ⅱ] 次の(a)～(d)のいずれかに該当し、かつ(e)に該当する者。</p> <p>(a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、放送、演劇、美術、文学、書道、プレゼンテーション、ディベートなど)における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者。</p> <p>(b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程のその他の課外活動の分野において指導的役割を果たし、かつ、めざましい実績を挙げた者。</p> <p>(c) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、ボランティア活動、校外活動の団体において指導的役割を果たし、かつ、めざましい実績を挙げた者。</p> <p>(d) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、日商(日本商工会議所)簿記1級を取得し、校内の活動において指導的な役割を果たした者。</p> <p>(e) 次の①～⑩のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。</p> <p>① ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications) ② 実用英語技能検定(英検)(従来型、英検CBTいずれも可) ③ GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る) ④ GTEC CBT ⑤ GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る) ⑥ IELTS(Academic Module) ⑦ TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) ⑧ TEAP CBT ⑨ TOEFL iBT ⑩ TOEIC L&RおよびTOEIC S&W(いずれもIPテスト可) ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>[資格Ⅲ] 次の(a)～(j)のいずれかに該当する英語の能力に優れた者。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)160点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,300点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)1,190点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 (j) 英語に関連する全国大会、国際大会等(例:英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、模擬国連大会、英語エッセイコンテスト、SGH研究発表大会)で極めて優秀な成績を収めた者。 ※ (a)～(i)については「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p>

<p>【経営学部:出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1)外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (2)日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (3)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (4)文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (5)その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。 ※上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>	
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>資格Ⅰ・Ⅱ ●面接試験 資格Ⅲ ●小論文:論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独自の発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・知的素養などを評価します。 ●面接試験</p>
<p>【出願書類】入学志願票/志望理由書/調査書/活動報告書/証明書類の原本</p>	

経営学科・国際経営学科 方式B

募集人員	出願資格
<p>経営学科 国際経営学科 経営学部全体で 方式B 各学科とも若干名</p>	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を受けている者(永住外国人等出入国管理及び難民認定法の別表第二に掲げる者)。</p> <p>2. 国際バカロレア事務局から、2018年4月1日から2020年3月31日までに国際バカロレア資格(IB Diploma)を授与された者もしくは授与される見込みの者。</p> <p>3. 次の(a)～(j)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)160点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,300点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)1,190点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 (j) 英語に関連する全国大会、国際大会等(例:英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、模擬国連大会、英語エッセイコンテスト、SGH研究発表大会)で極めて優秀な成績を収めた者。 ※ (a)～(i)については「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>●小論文:論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独自の発想・問題理解力・論理的構成力・文章表現力・知的素養などを評価します。 ●面接試験</p>
<p>【出願書類】入学志願票/志望理由書/IB Diploma/活動報告書/証明書類の原本</p>	

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

≫ 理学部

募集人員	出願資格
数学科 3名程度 物理学科 2名程度 化学科 3名程度 生命理学科 2名程度	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 (a) 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む、以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。 (b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学理学部(数学科、物理学科、化学科、生命理学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bおよび当該学科の下記の指定科目を履修している者。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる(理数数学特論を履修していない場合は、出願前に問い合わせてください)。</p> <p>4. 次の(a)～(j)のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 (a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications) (b) 実用英語技能検定(英検)(従来型、英検CBTいずれも可) (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る) (d) GTEC CBT (e) GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る) (f) IELTS(Academic Module) (g) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking) (h) TEAP CBT (i) TOEFL iBT (j) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W(いずれもIPテスト可) ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>5. 次のA・Bのいずれかに該当する者。 A. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、演劇、美術、文学、書道、弁論など)における都道府県レベル以上の大会・コンクールなどで上位に入賞した者。 (b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、指導的役割を果たした者もしくはレギュラーまたはそれに準ずる選手として活躍した者。 (c) 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了した者(2020年3月までに修了する見込みの者を含む)。 ※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。 B. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 (a) 日本数学オリンピックの予選に合格した者など、専攻分野の学業に役立つと思われる優れた実績を有する者。 (b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程第3学年第1学期までの学習成績において、当該学科の指定科目を履修し、それらの評定平均値が4.5以上の者。 各学科の指定科目: ○数学科の指定科目は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bとする。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 ○物理学科の指定科目は、物理基礎、物理とする。理数物理履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 ○化学科の指定科目は、化学基礎、化学とする。理数化学履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。 ○生命理学科の指定科目は、化学基礎、化学、生物基礎、生物のうち3科目とする。理数化学、理数生物履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。</p> <p>【理学部：出願条件1(b)の詳細内容について】 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (5) その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。 ※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>
選考方法	
第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考 (自由研究) 以下に示す研究テーマに関し、自分自身で着想し、調査・研究して、考察、分析した成果を、A4判・2ページ分(A3判・1ページ分)のスペースを利用して、「タイトル」「研究の背景・目的・方法」「研究の結果と考察」の要素を含む形でまとめてください。「自考力」「自主的に問題を発見し、分析し、提言する力」を総合的に評価します。 自由研究のテーマは、志望学科別に次のとおり。 ●社 会 学 科：現代の社会に関するテーマ ●現代文化学科：現代の社会と文化に関するテーマ ●メディア社会学科：現代の社会とメディアに関するテーマ	第2次選考 ●小論文：与えられたテーマについて書かれた小論文から、独創性・論理的思考力・知的柔軟性・表現力を総合的に評価します。 ●面接試験：第1次選考で提出された自由研究成果物を用いて、口頭発表を行います(口頭発表5分、質疑応答10分、追加資料は認めません)。研究目的を明示した上で、独自の意見として、何を主張したいのか、明確に結論部で表現してください。
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書 ^{*1} ／証明書類の原本 * 1. 高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。	

≫ 社会学部

募集人員	出願資格
社会学科 5名程度 現代文化学科 5名程度 メディア社会学科 5名程度	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 (a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む、以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学社会学部(社会学科、現代文化学科、メディア社会学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。 (a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)140点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア960点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア225点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>【社会学部：出願条件1(c)の詳細内容について】 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。 (2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (5) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」には、専修学校の高等課程を修了した者、高等学校卒業程度認定試験に合格した者は含まない。</p>
選考方法	
第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考 (自由研究) 以下に示す研究テーマに関し、自分自身で着想し、調査・研究して、考察、分析した成果を、A4判・2ページ分(A3判・1ページ分)のスペースを利用して、「タイトル」「研究の背景・目的・方法」「研究の結果と考察」の要素を含む形でまとめてください。「自考力」「自主的に問題を発見し、分析し、提言する力」を総合的に評価します。 自由研究のテーマは、志望学科別に次のとおり。 ●社 会 学 科：現代の社会に関するテーマ ●現代文化学科：現代の社会と文化に関するテーマ ●メディア社会学科：現代の社会とメディアに関するテーマ	第2次選考 ●小論文：与えられたテーマについて書かれた小論文から、独創性・論理的思考力・知的柔軟性・表現力を総合的に評価します。 ●面接試験：第1次選考で提出された自由研究成果物を用いて、口頭発表を行います(口頭発表5分、質疑応答10分、追加資料は認めません)。研究目的を明示した上で、独自の意見として、何を主張したいのか、明確に結論部で表現してください。
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／自由研究報告書／調査書 ^{*1} ／証明書類の原本 * 1. 高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。	

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
 なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
 2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
 注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

≫ 法学部

募集人員	出願資格
<p>法学部 国際ビジネス法学科 政治学科 法学部全体で 8名程度</p>	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学法学部(法学科、政治学科、国際ビジネス法学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(j)のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)</p> <p>(b) 実用英語技能検定(英検)(従来型、英検CBTいずれも可)</p> <p>(c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)</p> <p>(d) GTEC CBT</p> <p>(e) GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)</p> <p>(f) IELTS(Academic Module)</p> <p>(g) TEAP(Reading+Listening+Writing+Speaking)</p> <p>(h) TEAP CBT</p> <p>(i) TOEFL iBT</p> <p>(j) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W(いずれもIPテスト可)</p> <p>※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。</p> <p>実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>4. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、学術・文化・芸術の分野で高い評価を得た者(音楽、演劇、美術、文学、書道、弁論などにおける都道府県レベル以上の大会・コンクールで上位に入賞した者など)。団体での活動の場合は、高い評価を得ることに中心的役割を果たした者。</p> <p>(b) 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、指導的役割を果たした者もしくはレギュラーまたはそれに準ずる選手として活躍した者。</p> <p>(c) 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了し(2020年3月までに修了する見込みの者を含む)、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。</p> <p>※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。</p> <p>【法学部：出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(5) その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p> <p>※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>●面接試験</p>
<p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類の原本</p>	

≫ 観光学部

募集人員	出願資格
<p>観光学科 5名程度 交流文化学科 5名程度</p>	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学観光学部(観光学科、交流文化学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 以下の(a)～(j)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)140点以上の成績を取得している者。</p> <p>(b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。</p> <p>(c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)960点以上の成績を取得している者。</p> <p>(d) GTEC CBTスコア 880点以上の成績を取得している者。</p> <p>(e) GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア570点以上の成績を取得している者。</p> <p>(f) IELTS(Academic Module)オーバークールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。</p> <p>(g) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア 225点以上の成績を取得している者。</p> <p>(h) TEAP CBTスコア 420点以上の成績を取得している者。</p> <p>(i) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。</p> <p>(j) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。</p> <p>※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。</p> <p>実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>4. 次の資格Ⅰ～Ⅳのいずれかに該当する者。</p> <p>[資格Ⅰ] 観光関連産業の経営と観光による地域活性化のいずれかに関して、明確な問題意識または将来構想を持ち、それを解決または実現する強い意欲を持つ者。</p> <p>[資格Ⅱ] 観光関連産業の後継者で、その経営を通じて社会に貢献する強い意欲と、経営に関する具体的なプランを有する者。</p> <p>[資格Ⅲ] 国際間や都市・農村間などの文化交流に積極的に参加した実績と、その実績を通じて観光事業、観光による文化交流に貢献する強い意欲を持つ者。</p> <p>[資格Ⅳ] 学校教育における12年以上の課程のうち、通算して3学年以上の課程を日本国外において修了し、かつ、その海外体験を通じて観光事業、文化交流に貢献する強い意欲を持つ者。</p> <p>【観光学部：出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(5) その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認めた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p> <p>※ 上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>●出願書類をもとに書類選考 (課題作文)</p> <p>●資格Ⅰ 志願者課題：観光関連産業の経営と観光による地域活性化のいずれかに関して、明確な問題意識または将来構想を持つに至った経緯・理由と、それを解決または実現するための入学後の学習・活動計画について、3,000字程度の文章にまとめてください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p> <p>●資格Ⅱ 志願者課題：観光関連産業の経営を継承しようと決意した経緯・理由と、観光関連産業の経営を通じて社会に貢献しようという意欲を説明し、その意欲をどのように実現しようと考えているのか、その具体的な構想と課題を3,000字程度の文章にまとめてください。なお、継承しようとする企業・組織の名称と概要を課題作文中に明記してください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p> <p>●資格Ⅲ 志願者課題：文化交流に積極的に参加した実績と、その実績が観光事業もしくは観光による文化交流に貢献したいという意欲に結びついた理由を説明し、その意欲を実現するための入学後の学習・活動計画について、3,000字程度の文章にまとめてください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p> <p>●資格Ⅳ 志願者課題：海外体験が観光事業もしくは文化交流に貢献したいという意欲に結びついた理由を説明し、その意欲を実現するための入学後の学習・活動計画について、3,000字程度の文章にまとめてください。課題作文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。</p>	<p>第2次選考</p> <p>●小論文：与えられたテーマについて書かれた小論文から、論理的構成力・分析力・文章表現力・基礎的学問知識などを総合的に評価します。</p> <p>●面接試験</p>
<p>【出願書類】入学志願票／課題作文／調査書／証明書類の原本</p>	

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

自由選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

≫ コミュニティ福祉学部

募集人員	出願資格		
コミュニティ政策学科 15名程度 福祉学科 15名程度 スポーツウエルネス学科 15名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学コミュニティ福祉学部(福祉学科、コミュニティ政策学科、スポーツウエルネス学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(h)のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。</p> <p>(a) 実用英語技能検定(英検)(従来型、英検CBTいずれも可)</p> <p>(b) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)</p> <p>(c) GTEC CBT</p> <p>(d) IELTS(Academic Module)</p> <p>(e) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)</p> <p>(f) TEAP CBT</p> <p>(g) TOEFL iBT</p> <p>(h) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W(いずれもIPテスト可)</p> <p>※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。</p> <p>実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>4. 次の資格Ⅰ～Ⅴのいずれかに該当する者。</p> <p>[資格Ⅰ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会においてベスト8以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、ベスト8以上の成績を収めたチームで、指導的役割を果たした者もしくはレギュラーまたはそれに準ずる選手として活躍した者。</p> <p>[資格Ⅱ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、演劇、美術、文学、書道、弁論など)における都道府県レベル以上の大会・コンクールなどで上位に入賞した者。</p> <p>[資格Ⅲ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程(海外を含む)在学中に、継続的・主体的なボランティア活動、校内・校外活動あるいは海外活動をし、かつ、その活動においてめざましい実績を挙げた者。※高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程の授業として行われた活動は対象としない。</p> <p>[資格Ⅳ] 特別支援学校高等部(在籍3年以上)を卒業する者で、校内・校外活動において継続的・主体的なボランティア活動、障害者スポーツ大会、生徒会等で特筆すべき活動を行ったもの。</p> <p>[資格Ⅴ] 次の(a)～(i)のいずれかに該当する英語の能力に優れた者。</p> <p>(a) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,300点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。</p> <p>(b) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)1,190点以上の成績を取得している者。</p> <p>(c) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。</p> <p>(d) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上の成績を取得している者。</p> <p>(e) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上の成績を取得している者。</p> <p>(f) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。</p> <p>(g) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。</p> <p>(h) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上(いずれもIPテスト可)の成績を取得している者。</p> <p>(i) 英語に関連する全国大会、国際大会等(例:英語ディベート大会、英語プレゼンテーション大会、英語エッセイコンテスト)で極めて優秀な成績を収めた者。</p> <p>※ (a)～(h)については「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。</p> <p>実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>【コミュニティ福祉学部:出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(5) その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p> <p>※上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p> <p style="text-align: center;">選考方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考 </td> <td style="width: 50%;"> 第2次選考 ●面接試験 </td> </tr> </table> <p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類の原本</p>	第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ●面接試験
第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ●面接試験		

≫ 現代心理学部

募集人員	出願資格		
心理学科 10名程度 映像身体学科 20名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。</p> <p>(b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>2. 本学現代心理学部(心理学科、映像身体学科)での勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(j)のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)</p> <p>(b) 実用英語技能検定(英検)(従来型、英検CBTいずれも可)</p> <p>(c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)</p> <p>(d) GTEC CBT</p> <p>(e) GTEC(3技能版)(オフィシャルスコアに限る)</p> <p>(f) IELTS(Academic Module)</p> <p>(g) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)</p> <p>(h) TEAP CBT</p> <p>(i) TOEFL iBT</p> <p>(j) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W(いずれもIPテスト可)</p> <p>※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。</p> <p>実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>4. 心理学科においては、次の資格Ⅰ～Ⅴのいずれかに該当する者。</p> <p>映像身体学科においては、次の資格Ⅰ～Ⅳのいずれかに該当する者。</p> <p>[資格Ⅰ] 専攻分野の学業に役立つと思われる優れた能力・実績・経験を有する者。</p> <p>[資格Ⅱ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、校外活動、ボランティア活動、課外活動等において指導的な役割を果たした者、またはめざましい実績を挙げた者。</p> <p>[資格Ⅲ] 高等学校等上記出願条件1に該当する教育課程在学中に、文化・芸術の分野(音楽、放送、演劇、美術、文学、書道、弁論など)における全国または国際レベルの大会において、上位に入賞し、かつ、その活動団体において指導的役割を果たした者。映像身体学科においては、とくに映像・身体表現・演劇、その他映像身体学科に関連する「芸術・文化」活動において高いレベルの実績を挙げた者。</p> <p>[資格Ⅳ] 外国において、外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了し(2020年3月までに修了する見込みの者を含む)、かつ、特色ある異文化体験を持つ者。</p> <p>※ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。</p> <p>[資格Ⅴ] 次の(a)～(h)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,300点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。</p> <p>(b) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア1,190点以上の成績を取得している者。</p> <p>(c) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。</p> <p>(d) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上の成績を取得している者。</p> <p>(e) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上の成績を取得している者。</p> <p>(f) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。</p> <p>(g) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。</p> <p>(h) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。</p> <p>※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。</p> <p>実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>【現代心理学部:出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(5) その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。</p> <p>※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p> <p>※上記(1)(2)(4)(5)に該当する者については、評定平均値の条件は設けない。ただし、選考においては学業成績も評価の対象とする。</p> <p style="text-align: center;">選考方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考 </td> <td style="width: 50%;"> 第2次選考 ●面接試験 </td> </tr> </table> <p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書／活動報告書／証明書類の原本</p>	第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ●面接試験
第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ●面接試験		

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
 なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
 2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
 注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

国際コース選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

≫ 異文化コミュニケーション学部 × Dual Language Pathway

学部の専門科目を全て英語で修得し、これからのグローバル社会に貢献できる人材を育てるコースです。
コース履修者には欧米の大学で授業を受けられる水準の英語能力を求めます。
本コースにより卒業する学生には、コースの修了証明書を授与します。

募集人員	出願資格
異文化コミュニケーション学部 15名程度	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者。 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。 本学異文化コミュニケーション学部におけるDual Language Pathwayでの勉学に強い意欲を持つ者。 次の(a)～(e)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,400点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア6.0以上の成績を取得している者。 TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア332点以上の成績を取得している者。 TEAP CBTスコア671点以上の成績を取得している者。 TOEFL iBTスコア80点以上の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 <p>【異文化コミュニケーション学部:出願条件1(b)の詳細内容について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。
選考方法	
<p>第1次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願書類をもとに書類選考(小論文の課題) 異文化を理解するということはどういうことかについて述べ、さらにそれがどのように社会貢献につながるかについて、4,000字以上5,000字以内で論じてください(小論文にはタイトル、サブタイトルを必ずつけること)。小論文に書かれた内容・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 	<p>第2次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 面接試験:異文化コミュニケーションに関する30分の英語による講義を聴講後、面接を実施します。
<p>【出願書類】入学志願票/課題小論文/調査書/証明書類の原本</p>	

- ▶自由選抜入試と併願することができます。ただし、自由選抜入試異文化コミュニケーション学部 **方式B** とは併願できません。
- ▶「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願期間前に審査が必要です。詳細は入試要項を確認してください。

≫ 社会学部 × 国際社会コース

グローバルな視点から日本と海外の社会と文化を理解し、地球社会で活躍する人材を育てるとい
社会学部の国際化目標を先駆的に追求することを目的としたコースです。
学部英語科目を軸に3学科の専門科目を学生の関心に沿って横断的に履修できます。

募集人員	出願資格
社会学部 5名程度 現代文化学科 5名程度 メディア社会学部 5名程度	<p>次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。 高等学校を卒業している者は高等学校の全体の評定平均値が3.8以上の者。 高等学校卒業見込みの者は第3学年第1学期までの全体の評定平均値が3.8以上の者。 なお、出願条件1(a)に該当しない者については、評定平均値の条件は設けない。 本学社会学部(社会学科、現代文化学科、メディア社会学科)において国際社会コースの履修を強く希望する者。 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。 <ol style="list-style-type: none"> ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)153点以上の成績を取得している者。 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,180点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア1,115点以上の成績を取得している者。 GTEC CBTスコア1,070点以上の成績を取得している者。 IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.0以上の成績を取得している者。 TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア280点以上の成績を取得している者。 TEAP CBTスコア540点以上の成績を取得している者。 TOEFL iBTスコア62点以上の成績を取得している者。 TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,425点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 <p>【社会学部:出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」には、専修学校の高等課程を修了した者、高等学校卒業程度認定試験に合格した者は含まない。
選考方法	
<p>第1次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 出願書類をもとに書類選考 	<p>第2次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 小論文:与えられたテーマについて書かれた小論文から、論理的構成力・文章表現力・知的素養・独創的発想などを総合的に評価します。 面接試験
<p>【出願書類】入学志願票/志望理由書/調査書/証明書類の原本</p>	

- ▶自由選抜入試と併願することはできません。ただし、自由選抜入試異文化コミュニケーション学部 **方式B** に限り併願が可能です。
- ▶「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願期間前に審査が必要です。詳細は入試要項を確認してください。

注)GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
注)TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

国際コース選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

» Global Liberal Arts Program (GLAP)

立教大学がこれまで培ってきた「リベラルアーツ」の理念と国際性を養う教育を少人数で行い、英語による科目のみで学位が取得できる、既存の10学部から独立したプログラムです。英語によるコミュニケーション、思考力、表現力など、卒業後に広く世界で活躍できる力を身につけます。

秋季実施分

募集人員	出願資格
GLAP 秋季実施:12名程度	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. グローバル・リベラルアーツ・プログラムでの勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)160点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,600点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア1,190点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>【グローバル・リベラルアーツ・プログラム:出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者。</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2020年3月31日までに合格見込みの者。</p> <p>(6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。</p> <p>(7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。</p>
選考方法	
第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ●小論文:英語による小論文を実施します。与えられた英文を読み、そのテーマについて書かれた小論文から、読解力・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 ●面接試験
【出願書類】入学志願票/志望理由書/調査書 ^{*1} /証明書類の原本 *1. 高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。	
▶自由選抜入試と併願することができます。ただし、自由選抜入試異文化コミュニケーション学部【方式B】とは併願できません。 ▶秋季実施と春季実施の2回実施します。詳細はP.4を確認してください。 ▶「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願期間前に審査が必要です。詳細は入試要項を確認してください。	

春季実施分

募集人員	出願資格
GLAP 春季実施:若干名	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者。 (b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者。 (c) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p> <p>2. グローバル・リベラルアーツ・プログラムでの勉学に強い意欲を持つ者。</p> <p>3. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。</p> <p>(a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)160点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア2,600点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア1,190点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア1,160点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア5.5以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア309点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア600点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア72点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,560点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2018年2月1日以降に受験し取得したスコア」が有効。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2018年2月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>【グローバル・リベラルアーツ・プログラム:出願条件1(c)の詳細内容について】</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2020年3月31日までに修了見込みの者。</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者。</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2020年3月31日までに合格見込みの者。</p> <p>(6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。</p> <p>(7) その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。</p>
選考方法	
第1次選考 ●出願書類をもとに書類選考	第2次選考 ●小論文:英語による小論文を実施します。与えられた英文を読み、そのテーマについて書かれた小論文から、読解力・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 ●面接試験
【出願書類】入学志願票/志望理由書/調査書 ^{*1} /証明書類の原本 *1. 高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。	
▶秋季実施と春季実施の2回実施します。詳細はP.4を確認してください。 ▶秋季実施で不合格となった受験者が春季実施へ再出願することも可能です。 ▶「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願期間前に審査が必要です。詳細は入試要項を確認してください。	

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

アスリート選抜入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

「アスリート選抜入試」は、立教大学の建学の精神に基づいて、知性・感性・身体のバランスが取れた、幅広い視野と総合的な判断力を備えた人材の育成を目的としています。スポーツ競技の実績が優秀であるだけでなく、人格的にも優れ学業に対する高い意欲をもつ者を選抜し、立教大学体育会各部をリードするとともに立教大学生の模範と成り得る学生を育てたい、と考えています。

≫ 全学部

▶ 募集競技種目については右ページをご覧ください。

募集人員	出願資格
全学部 全学部とも 若干名	<p>次の1～3の条件をすべて満たす者。ただし、文学部文学科英米文学専修、経営学部国際経営学科、異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科は次の1～4の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 本学への入学を強く希望し、入学後、学業と体育会でのスポーツ活動とを両立させる強い意欲を持つ者。</p> <p>2. 次の(a)・(b)のいずれかに該当する者。 (a) 2019年4月から2020年3月までに高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下同じ)を卒業する者で、高等学校第2学年末までの全体の評定平均値が3.5以上のもの。 ※ 理学部各学科を志望する者は、(a)の条件に加え、各学科が指定する下記の科目のうち、高等学校第2学年末までに履修した科目の評定平均値が、当該学科の定める評定平均値以上の者。 ① 数学科: 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bを指定科目とする。理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる(理数数学特論を履修していない場合は、出願前に問い合わせてください)。履修した科目の評定平均値が4.2以上の者。 ② 物理学科: 物理基礎、物理を指定科目とする。理数物理履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。履修した科目の評定平均値が4.0以上の者。 ③ 化学科: 化学基礎、化学を指定科目とする。理数化学履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。履修した科目の評定平均値が4.0以上の者。 ④ 生命理学科: 化学基礎、化学、生物基礎、生物を指定科目とする。理数化学、理数生物履修者は上記科目に相当する科目に置き換えることができる。履修した科目の評定平均値が4.0以上の者。 (b) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(a)に準ずると認められる者。</p> <p>3. 募集競技種目において、高等学校等上記出願条件2に該当する教育課程在学中の競技実績が次の(a)～(d)のいずれかに該当する者。 (a) オリンピック、世界選手権、IF(インターナショナル・フェデレーション)主催の国際大会、およびこれらに相当する国際大会に出場した者。 (b) 全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民体育大会、およびこれらに相当する全国大会において、16位以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、16位以上の成績を収めたチームで、正選手として出場した者。 (c) 各地域のブロック大会において、8位以上の成績を収めた者。団体競技の場合は、8位以上の成績を収めたチームで、正選手として出場した者。 ※ 各地域のブロック大会とは、北海道(ただし、都道府県大会と同等の大会は除く)、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州などの地区大会を指す。 (d) その他、上記(a)～(c)と同等以上の実績を、公式競技記録等により証明できる者。</p> <p>4. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。 (a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)140点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)スコア960点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア225点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年9月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年9月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p> <p>【出願条件2(b)の詳細内容について】 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (2) 日本国内において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設の12年の課程を2019年4月から2020年3月31日までに修了見込みの者。 (5) その他、本学において、2019年4月から2020年3月31日までに高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者で、2020年3月31日までに満18歳に達するもの。 ※ ここでいう「高等学校を卒業した者と同等以上の学力が備わる見込みがあると認められた者」には、高等専門学校の3年次を修了見込みの者、専修学校の高等課程を修了見込みの者、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は含まない。</p>
選考方法	
<p>第1次選考</p> <p>● 出願書類をもとに書類選考</p>	<p>第2次選考</p> <p>● 小論文: 与えられたテーマについて書かれた小論文から、論理的構力・文章表現力・知的素養・独創的発想などを総合的に評価します。</p> <p>● 面接試験</p>
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／調査書／競技実績証明書および証明資料／証明書類の原本(出願条件「4.」に該当する証明書)	
<p>▶ 理学部入学後の授業は、「数学Ⅲ」の履修を前提として行います。 ▶ 上記に該当しない競技実績についても、自由選抜入試で出願できる場合があります。詳細はP.16をご覧ください。 ▶ 右記に該当しない競技種目についても、自由選抜入試で出願できる場合があります。詳細はP.16をご覧ください。</p>	

募集競技種目

※ 各競技種目の第1次選考合格者数は原則5名までとします。

山岳	フェンシング	ラグビー	卓球	合気道
アメリカンフットボール	陸上競技	スケート(フィギュア、スピード)	バレーボール	日本拳法
バドミントン	ハンドボール	スキー	レスリング	洋弓
硬式野球	体操競技(新体操を含む)	サッカー	ヨット	ゴルフ
バスケットボール	ホッケー	準硬式野球(軟式野球を含む)	弓道	射撃
ボート	テニス	ソフトテニス	柔道	少林寺拳法
ボクシング	空手道	相撲	剣道	ラクロス
自転車競技	馬術	水泳競技	ウエイトリフティング	アイスホッケー

帰国生入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

外国において外国の学校教育制度のもとで学び、異文化体験とおとして身につけたさまざまな能力や個性を大学生活の中でさらに豊かに開花させたいと考える帰国生のための入学試験制度です。

≫ 経営学部

募集人員	出願資格
経営学部 若干名	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <p>1. 日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を受けている者(永住外国人等出入国管理及び難民認定法の別表第二に掲げる者)。</p> <p>2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を2019年4月から2020年3月までに修了する者(「飛級」により通常の課程を12年未満で修了する者を含む)。</p> <p>3. 次の(a)・(b)のいずれかを満たす者。 (a) 外国において、外国の学校教育制度に基づく中学校・高等学校(7学年以上に相当する課程)で、継続して3学年以上の課程を修了した者(2020年3月までに修了する見込みの者を含む)。 (b) 外国において、外国の学校教育制度に基づく小学校・中学校・高等学校で、通算して5学年以上の課程を修了した者(2020年3月までに修了する見込みの者を含む)。 ※ ここでいう「外国の学校教育制度に基づく小学校・中学校・高等学校」には、在外教育施設は含まない。</p> <p>4. 日本の学校教育制度に基づく高等学校(中等教育学校後期課程を含む)および日本において外国の学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)での修了学年数が2学年以内の者。</p> <p>5. 次の(a)～(i)のいずれかを満たす者。 (a) ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)140点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検)CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC(4技能版)(オフィシャルスコアに限る)960点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS(Academic Module)オーバーオールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。 (f) TEAP(Reading/Listening+Writing+Speaking)スコア225点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上(いずれもIPテスト不可)の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。</p>
選考方法	
<p>● 小論文: 高等学校の特定の科目や志望学部の専門性に偏らない内容とし、論文作成のための素材や枠がある程度与えられ、独創的発想・問題理解力・論理的構力・文章表現力・知的素養などが評価されます。</p> <p>● 面接試験 ※ 筆記試験(小論文)の成績により面接試験対象者を選考します。</p>	
【出願書類】 入学志願票／志望理由書／高等学校全期間の成績証明書(調査書)／卒業証明書または卒業見込証明書／在籍期間証明書(出願資格を満たすために必要な修了学年数が成績証明書等で確認できない場合のみ)／証明書類の原本	

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC(4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

外国人留学生入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

国際交流の一環として、交換留学制度とは別に、本学での教育を希望する外国人留学生のための入学試験制度です。「筆記試験および面接による募集制度」と「書類選考による募集制度」を行っています。授業は日本語で行うため、充分な日本語能力が必要です。なお、立教大学には、留学生別科、研究生、研修生と呼ばれるような正規学生になるための準備教育を行う制度はありません。

≫ 異文化コミュニケーション学部 筆記試験および面接による募集制度

募集人員	出願資格
異文化コミュニケーション学部 7名程度	次の1～4の条件をすべて満たす者。 1. 出願時に日本国籍を有しない者。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 3. 学校教育における7～12学年の課程のうち、外国において、外国の学校教育制度に基づく課程によって、通算して5学年以上を修了した者（「飛級」により5学年以上に相当する課程を5年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 4. IELTS (Academic Module) またはTOEFL iBTを受験し、スコアを提出できる者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。

▶選考方法／出願書類については下記をご覧ください。

≫ コミュニティ福祉学部 筆記試験および面接による募集制度

募集人員	出願資格
コミュニティ福祉学部 若干名	次の1～4の条件をすべて満たす者。 1. 出願時に日本国籍を有しない者。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 3. 学校教育における7～12学年の課程のうち、外国において、外国の学校教育制度に基づく課程によって、通算して5学年以上を修了した者（「飛級」により5学年以上に相当する課程を5年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 4. 次の(a)～(h)のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 (a) 実用英語技能検定(英検) (英語4技能に限る) (従来型、英検CBTいずれも可) (b) GTEC (4技能版) (オフィシャルスコアに限る) (c) GTEC CBT (d) IELTS (Academic Module) (e) TEAP (Reading/Listening+Writing+Speaking) (f) TEAP CBT (g) TOEFL iBT (h) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W (いずれもIPテスト可) ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。

選考方法
●日本語 ●面接試験

【出願書類】入学志願票／志望理由書／高等学校の成績証明書／高等学校の卒業証明書または卒業見込証明書／住民票／パスポートの写し／証明書類の原本

≫ 文学部・社会学部・コミュニティ福祉学部 書類選考による募集制度

募集人員	出願資格
文学部 18名程度 社会学部 10名程度 コミュニティ福祉学部 8名程度	次の1～5の条件をすべて満たす者。 1. 出願時に日本国籍を有しない者。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 3. 学校教育における7～12学年の課程のうち、外国において、外国の学校教育制度に基づく課程によって、通算して5学年以上を修了した者（「飛級」により5学年以上に相当する課程を5年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 4. 独立行政法人日本学生支援機構および国外関係機関が実施する「日本留学試験」を受験した者。 5. 次の(a)～(i)のいずれかに該当する者。 (a) ケンブリッジ英語検定 (Cambridge English Qualifications) 140点以上の成績を取得している者。 (b) 実用英語技能検定(英検) CSE2.0スコア1,950点以上の成績を取得している者(従来型、英検CBTいずれも可)。 (c) GTEC (4技能版) (オフィシャルスコアに限る) スコア960点以上の成績を取得している者。 (d) GTEC CBTスコア880点以上の成績を取得している者。 (e) IELTS (Academic Module) オーバーオールバンドスコア4.0以上の成績を取得している者。 (f) TEAP (Reading/Listening+Writing+Speaking) スコア225点以上の成績を取得している者。 (g) TEAP CBTスコア420点以上の成績を取得している者。 (h) TOEFL iBTスコア42点以上の成績を取得している者。 (i) TOEIC L&Rのスコアと2.5倍したTOEIC S&Wのスコアとを合算したスコア1,150点以上 (いずれもIPテスト不可) の成績を取得している者。 ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 【日本留学試験に関する注意事項】 ① 科目は右表の通りとする。 ② 出題言語は英語、日本語いずれの選択も可とする。 ③ 成績は直近に実施された試験の4回分(2018年6月、2018年11月、2019年6月、2019年11月実施分)までを有効とする。複数回受験した場合は、いずれか1回を選択し、その受験番号を申告すること。

学部	科目
[文学部]	日本語、総合科目
[社会学部]	日本語、総合科目
[コミュニティ福祉学部]	日本語、総合科目

▶選考方法／出願書類については下記をご覧ください。

≫ 経済学部・経営学部・理学部・法学部・観光学部・現代心理学部 書類選考による募集制度

募集人員	出願資格
経済学部 14名程度 経営学部 6名程度 理学部 6名程度 法学部 12名程度 観光学部 8名程度 現代心理学部 6名程度	次の1～5の条件をすべて満たす者。 1. 出願時に日本国籍を有しない者。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 3. 学校教育における7～12学年の課程のうち、外国において、外国の学校教育制度に基づく課程によって、通算して5学年以上を修了した者（「飛級」により5学年以上に相当する課程を5年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 4. 独立行政法人日本学生支援機構および国外関係機関が実施する「日本留学試験」を受験した者。 5. 次の(a)～(i)のいずれかを受験し、スコアを提出できる者。 (a) ケンブリッジ英語検定 (Cambridge English Qualifications) (b) 実用英語技能検定(英検) (英語4技能に限る) (従来型、英検CBTいずれも可) (c) GTEC (4技能版) (オフィシャルスコアに限る) (d) GTEC CBT (e) IELTS (Academic Module) (f) TEAP (Reading/Listening+Writing+Speaking) (g) TEAP CBT (h) TOEFL iBT (i) TOEIC L&RおよびTOEIC S&W (いずれもIPテスト不可) ※ いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。 実用英語技能検定(英検)については、二次試験を2017年11月1日以降に受験し取得したスコアを有効とする。 【日本留学試験に関する注意事項】 ① 科目は右表の通りとする。 ② 出題言語は英語、日本語いずれの選択も可とする。 ③ 成績は直近に実施された試験の4回分(2018年6月、2018年11月、2019年6月、2019年11月実施分)までを有効とする。複数回受験した場合は、いずれか1回を選択し、その受験番号を申告すること。

学部	科目
[経済学部]	日本語、総合科目、数学(コース1)
[経営学部]	日本語、総合科目、数学(コース1)
[理学部]	数学科 …………… 日本語、理科(物理、化学、生物のうちから2科目選択)、数学(コース2)
物理学科 ……………	日本語、理科(物理を必須とし、その他、化学、生物のうちから1科目選択)、数学(コース2)
化学科 ……………	日本語、理科(化学を必須とし、その他、物理、生物のうちから1科目選択)、数学(コース2)
生命理学科 ……………	日本語、理科(物理、化学、生物のうちから2科目選択)、数学(コース2)
[法学部]	日本語、総合科目、数学(コース1)
[観光学部]	日本語、総合科目
[現代心理学部]	心理学科 …………… 日本語、総合科目、数学(コース1)
映像身体学科 ……………	日本語、総合科目

選考方法
〈書類選考〉提出された書類に基づき、学業成績、志望理由、日本留学試験の成績、英語の成績などを総合的に評価します。

【出願書類】入学志願票／志望理由書／高等学校の成績証明書／高等学校の卒業証明書または卒業見込証明書／「日本留学試験」の成績通知書の写しまたは受験票の写し／住民票／パスポートの写し／証明書類の原本

注) GTEC CBTは、2017年11月・2018年3月実施の「GTEC CBT」を指し、スコア条件を満たした「Score Report」または「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
なお、「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を用いる場合には、GTEC (4技能版)のスコア条件を満たしている必要があります。
2018年度以降に「GTEC」CBTタイプを受検した場合は、「GTEC」(4技能版)のスコア条件を満たした「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出する必要があります。
注) TOEICを出願書類に使用する場合は、TOEIC L&RおよびTOEIC S&Wの両方(4技能)のスコアを提出する必要があります。

外国人留学生入試

2020年度入試日程・カレンダーはP.4をご覧ください。
出願の際は必ず入試要項を確認してください。

≫ 異文化コミュニケーション学部 書類選考による募集制度

募集人員	出願資格
異文化コミュニケーション学部 5名程度	<p>次の1～5の条件をすべて満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出願時に日本国籍を有しない者。 2. 国の内外を問わず、学校教育における12年以上の課程を修了した者（「飛級」により通常の課程を12年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 3. 学校教育における7～12学年の課程のうち、外国において、外国の学校教育制度に基づく課程によって、通算して5学年以上を修了した者（「飛級」により5学年以上に相当する課程を5年未満で修了した者、および2020年3月までに修了見込みの者を含む）。 4. 日本語能力試験N3以上を取得している者。 5. IELTS (Academic Module) オーバーオールバンドスコア6.0以上またはTOEFL iBTスコア80点以上を取得している者。 ※いずれも「2017年11月1日以降に受験し取得したスコア」を有効とする。
	選考方法
	<p>〈書類選考〉提出された書類に基づき、学業成績、志望理由、日本語能力、英語の成績などを総合的に評価します。</p> <p>【出願書類】入学志願票／志望理由書／高等学校の成績証明書／高等学校の卒業証明書または卒業見込証明書／住民票／パスポートの写し／証明書類の原本</p>

指定校推薦入学

全学部・コースで実施します。指定校推薦依頼校には7月上旬に依頼状と入学要項等を送付します。詳細は在籍校で確認してください。

社会人入試

大学で学ぶ意欲をもつ社会人を、一般入試とは別の入学試験によって受け入れる制度です。コミュニティ福祉学部、現代心理学部で実施します。入学は学部1年次、授業は昼間に行われ、他の学生と同じ条件の下で所定の課程を修めることになります。

【募集人員】各学部とも若干名 【選考方法】小論文、面接試験 *現代心理学部は面接試験のみ
※ 出願時に英語資格・検定試験のスコアの提出が必須となります。詳細は入試要項で確認してください。

3年次編入学試験

4年制大学において2年次以上を修了した者、または短期大学、高等専門学校卒業生などを対象とした本学の3年次に編入学する制度です。実施学部等詳細については、本学Webサイト入試情報ページ(www.rikkyo.ac.jp/admissions/undergraduate/transfer/)の「編入学試験・学内転部(転科)試験」をご覧ください。